

平成30年度 抵抗加熱技術部会技術交流・見学会 三建産業株式会社 見学記

1.日 時：平成30年6月29日（金） 14時00分～16時00分

2.見学場所：三建産業株式会社

3.説明者：三建産業(株) 取締役会長 万代 峻 様、開発本部 本部長 岸村 司 様

製造本部 工事部 部長 淤見 利彦様、管理本部 人事総務部 部長 宮里 顕寛 様

営業本部 第一営業部 信井 大 様

4.出席者：21名（事務局含む）

5.概要

平成30年度の抵抗加熱技術部会技術交流・見学会の第二見学先として、27日の午後に広島市安佐南区にある三建産業株式会社殿を見学した。なお、今年度より技術交流・見学会は、主催する技術部会だけでなく、他の会員様にも窓口を広げた見学会のかたちで募集をし、その最初の見学会として、抵抗加熱技術部会以外の会員様にも参加をしていただいた。

三建産業株式会社殿は弊センターの会員企業様でもあり、「工業炉」のトップメーカーとして、「熱とエネルギーにかかわる技術」をコア技術としてトータルエンジニアリングを展開されている。特にアルミ部品用工業炉は、国内でトップクラスのシェアを誇り、日本国内のアルミ自動車部品のほとんどが三建産業株式会社殿の工業炉を通して製造されている。

会議室での事前説明では、万代会長より化石燃料に頼らないエネルギー利用の重要性と、その中での電化の取り組みの紹介をいただき、営業部の信井様より会社の概要と自動車業界や鋳鍛鋼業界等で活躍するアルミ溶解炉、アルミ熱処理炉、大型鍛造用加熱炉、セラミックファイバー採用炉等の主力製品の紹介をしていただいた。次に、日刊工にも掲載された電気式アルミ溶解保持炉「S-MIC II」について、岸村部長より説明をしていただいた。なお、「S-MIC II」は、高出力密度浸漬ヒータによりコンパクトと高い熱効率、そしてCO₂排出ゼロ、高い溶解歩留まりを実現した次世代炉である。



写真1 会議室での説明

続いての工場見学では、最初入口に掲示されている導入された各種設備のパネルを用いての機器紹介を受けた。工場内では、現在生産されている連続熱処理炉、アルミ溶解炉やアルミ溶湯出湯装置などの製品について紹介・見学させていただいた。整理整頓された工場内には安全・5S・現場改善の掲示も多数あり、現場の諸活動がしっかり為されている印象を受けた。また、本組立工場内で製品を仮組し搬送することで、以前は現地で行っていた組立工程を削減することで、お客様の操業に関わる導入工期短縮を図っているとのことであった。

見学後の質疑応答では、省エネにおいて加熱目的や温度帯により対応が異なる点や、日本工業炉協会、NEDOで開発したリジェネレーター以降の状況、そして350℃以下の低温回収、廃熱を電気変換できないか、或いはアルミ溶融の方法などの議論となった。

今回の見学会では、熱産業で重要な位置を占める「工業炉」のトップメーカーである三建産業株式会社殿が、燃焼加熱だけでなく、電気加熱を含め熱とエネルギーの絶え間ない技術革新に取り組みされている様子を伺うことができ、大変有意義な見学会となった。



写真2 本社前にて



写真3 工場入口での説明